

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成27年 3月30日

計画の名称	10 尾鷲、熊野生活創造圏における地域間のアクセス強化と安心安全でにぎわいのあるまちづくり										
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）					交付対象	尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町				
計画の目標	主要幹線道路へのアクセス強化による安全かつ快適な道路ネットワークを整備し、併せて沿道施設の環境改善や、救急・消防活動等の災害に備えた防災対策機能を強化することにより、安全で安心して生活でき地域が活性化するまちづくりを目指す。										
計画の成果目標（定量的指標）	各拠点施設から幹線道路までの所要時間の短縮。 沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率の向上。										
定量的指標の定義及び算定式											備考
① 各拠点施設から幹線道路までの所要時間を現地走行調査により算出	当初現況値			中間目標値			最終目標値				
	(H21当初)			(H23末)			(H25末)				
② 沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率を算出 生活環境の向上や防災機能の向上が図れた地区率(%)=生活環境の向上が図れた地区数÷コミュニティ地区数×100(%)	32.5分			26.1分			20.8分				
	0%			28%			40%				
全体事業費	合計(A+B+C)	1,835百万円	A	1,618百万円	B	0百万円	C	217百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	11.8%	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
交付対象市町において目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施	平成27年3月
	公表の方法
	各市町ホームページ等により公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
10-A1	道路	一般	熊野市	直接		市町村道	改築	(他) 金山小学校線	現道拡幅 L=640m	熊野市						165	
10-A2	道路	一般	熊野市	直接		市町村道	改築	(2) 千儀鬼ヶ城線	現道拡幅 L=440m	熊野市						179	
10-A4	道路	一般	熊野市	直接		市町村道	修繕	(1) 久生屋線外1路線	舗装修繕 L=840m	熊野市						61	
10-A5	道路	一般	熊野市	直接		市町村道	修繕	(1) 瀨線	耐震補強・災害防除L=285m	熊野市						22	
10-A6	道路	一般	熊野市	直接		市町村道	交安	(他) 立石中ノ茶屋線	カラー舗装 L=440m	熊野市						52	
10-A7	道路	一般	熊野市	直接		市町村道	修繕	(他) 鬼ヶ城西口線	災害防除 L=90m	熊野市						0	
10-A8	道路	一般	御浜町	直接		市町村道	改築	(1) 市木阿田和線	バイパス L=600m	御浜町						56	
10-A9	道路	一般	御浜町	直接		市町村道	改築	(2) 市ノ木山線	現道拡幅 L=270m	御浜町						0	
10-A10	道路	一般	御浜町	直接		市町村道	改築	(他) 空地碓線	現道拡幅 L=390m	御浜町						14	
10-A11	道路	一般	御浜町	直接		市町村道	修繕	(1) 市木阿田和線	側溝修繕 L=350m	御浜町						18	
10-A12	道路	一般	御浜町	直接		市町村道	交安	(1) 西ノ平線	歩道整備 L=590m	御浜町						120	
10-A13	道路	一般	御浜町	直接		市町村道	交安	(他) 引作山地線	歩道整備 L=500m	御浜町						0	
10-A14	道路	一般	紀宝町	直接		市町村道	改築	(他) 鶴殿本町線(波静橋)	橋梁架替 N=1橋	紀宝町						110	
10-A15	道路	一般	紀宝町	直接		市町村道	修繕	(2) 里前三反田線(里前橋)	耐震補強 N=1橋	紀宝町						15	
10-A16	道路	一般	紀宝町	直接		市町村道	改築	(他) 井田神社線(宇気津橋)	橋梁架替 N=1橋	紀宝町						22	
10-A17	道路	一般	紀宝町	直接		市町村道	改築	(1) 鶴子線	現道拡幅 L=320m	紀宝町						161	
10-A18	道路	一般	尾鷲市	直接		市町村道	修繕	(他) 野地5号線外5路線	側溝修繕 L=940m	尾鷲市						52	
10-A19	道路	一般	紀北町	直接		市町村道	改築	(2) 小山山側線	現道拡幅 L=430m	紀北町						38	
10-A21	道路	一般	熊野市	直接		市町村道	修繕	(1) 西川町獅子岩線	舗装修繕 L=300m	熊野市						0	
10-A22	道路	一般	熊野市	直接		市町村道	修繕	(他) 大前団地3号線	側溝修繕 L=88m	熊野市						8	
10-A23	道路	一般	御浜町	直接		市町村道	改築	(2) 三軒屋東平見線	現道拡幅 L=370m	御浜町						0	
10-A24	道路	一般	御浜町	直接		市町村道	修繕	(他) 阿田和小学校線(養真橋)	耐震補強 N=1橋	御浜町						9	
10-A25	道路	一般	紀宝町	直接		市町村道	修繕	(他) 御社線	舗装修繕 L=100m	紀宝町						0	
											合計	1,102					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H21	H22	H23	H24	H25		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H21	H22	H23	H24	H25		
10-C1	観光	一般	熊野市	直接		観光施設整備	観光マップ作成事業	観光ガイドマップ作成	熊野市						0	
10-C2	活動支援	一般	熊野市	間接	自治会	活動支援	活動支援事業	防犯灯設置に対する補助金支払い	熊野市						0	
10-C3	施設整備	一般	御浜町	直接		駐輪場整備	駐輪場整備他	3箇所(阿田和、市木、神志山駅前)	御浜町						0	
10-C4	施設整備	一般	御浜町	直接		ヘリポート整備	ヘリポートの整備	ヘリポートの設置	御浜町						0	
10-C5	施設整備	一般	御浜町	直接		駐輪場整備	中央公民館前駐輪場整備	舗装・区画線・屋根付待合所の設置	御浜町						0	
10-C6	施設整備	一般	紀宝町	直接		消防車購入	消防車購入事業	消防車購入1台	紀宝町						9	
10-C7	施設整備	一般	紀宝町	直接		災害用備品購入	災害時生活支援整備事業	投光器購入事業	紀宝町						3	
10-C10	下水道	一般	尾鷲市	直接		下水道修繕	野地町地内下水道修繕事業	下水管修繕	尾鷲市						43	
10-C12	施設整備	一般	熊野市	直接		スクールバス購入	スクールバス購入事業	スクールバス購入 1台	熊野市						5	
10-C13	排水管	一般	熊野市	直接		排水管修繕	排水管修繕事業	排水管修繕	熊野市						22	
10-C14	計画検討	一般	尾鷲市	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=24橋	尾鷲市						4	
10-C15	計画検討	一般	紀北町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=43橋	紀北町						2	
10-C16	計画検討	一般	熊野市	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=79橋	熊野市						8	
10-C17	計画検討	一般	御浜町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=43橋	御浜町						2	
10-C18	計画検討	一般	紀宝町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=26橋	紀宝町						1	
10-C19	計画検討	一般	尾鷲市	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=186橋	尾鷲市						16	
10-C20	計画検討	一般	紀北町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=231橋(L=15m未満)	紀北町						16	
10-C21	計画検討	一般	熊野市	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=79橋	熊野市						3	
10-C22	計画検討	一般	紀宝町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=26橋	紀宝町						4	
										合計					138	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		
10-C1	観光マップを作成配布することにより目的地までの経路把握を容易にすることで、地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、道路交通の円滑で安全な環境を構築する。															
10-C2	地方道路整備事業と一体的に防犯灯整備を行ない、通行者および地域住民の交通安全対策・防犯対策を強化する。															
10-C3	駅前の違法駐輪対策として駐輪場を整備し、地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、道路利用者の安全で快適な道路利用を促進する。															
10-C4	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体的に、災害時の救急医療・物資輸送等に対応できるヘリポートを整備することで、陸路・空路両方から成る緊急体制の強化を図る。															
10-C5	コミュニティバス停留所の駐輪場を整備し利用促進を図ることで、地方道路整備事業と一体となって、交通ネットワークを充実させ安全で円滑な道路環境を確保する。															
10-C6	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体的に、消防車を増車配備することにより災害時等に対する防災機能を向上させ地域住民の安全を確保する。															
10-C7	(10-A15)の橋梁耐震補強と一体となって各地区防災組織へ投光器を配備することで、災害時の救助・救援活動・避難路の安全確保などに役立て地域住民や道路利用者の安全を確保する。															
10-C10	(10-A18)と一体的に下水道を修繕することで、近年発生するゲリラ豪雨時の道路の冠水を防ぎ道路利用者や地域住民の安全・安心を確保する。															
10-C12	スクールバスの新規購入・運行を道路事業による交通安全事業や修繕事業と一体となって整備することで、児童の安全な通学環境が確保され地域住民が安全に安心して暮らせる環境が整備できる。															
10-C13	(10-A22)道路修繕と一体的に排水管の整備を行うことで、排水機能の向上により道路冠水を防止し交通の安全性・快適性の向上を図り、地域住民が安全に安心して生活できる環境を整備する。															
10-C14	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。															
10-C15	修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。															
10-C16	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。															
10-C17	修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。															
10-C18	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。															
10-C19	修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。															
10-C20	15m未満の橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。															
10-C21	修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。															
10-C22	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 市道金山小学校線の現道拡幅を行った結果、紀南中核的交流施設から幹線道路(国道311号)までの移動時間が短縮され、住民生活の利便性と快適性の向上が図られた。 町道鶴子線の現道拡幅を行った結果、拠点施設から幹線道路までの移動時間が短縮され、住民生活の利便性と快適性の向上が図られた。 町道小山山側線の現道拡幅を行った結果、拠点施設から幹線道路(R42)までの移動時間が短縮され、住民生活の利便性と快適性の向上が図られた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①(各拠点施設から幹線道路までの所要時間の短縮)	最終目標値	20.8分	目標値と実績値に差が出た要因	一部の要素事業において、当初予定していなかった法面補強等による全体事業費の増加などにより、当初計画で想定していた事業進捗に遅れが発生したため。
		最終実績値	25.5分		
	指標②(生活環境向上、防災機能強化が図れた地区整備率)	最終目標値	40%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	40%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 里前橋等の補修・耐震補強を行った結果、安心・安全な道路ネットワークが構築され、救急・消防活動等の災害に備えた防災対策機能の強化が図られた。 町道西ノ平線の歩道整備等を行った結果、通学児童や歩行者が安心・安全に通行できるようになった。 橋梁長寿命化修繕計画を策定することにより、円滑なメンテナンスサイクルを構築し効率的かつ効果的な橋梁修繕を図ることができた。 			
3. 特記事項(今後の方針等)					
事業継続中の箇所について、早期に事業効果が発現できるよう事業進捗を図るなど、引き続き計画的な道路整備を推進し、地域が活性化するまちづくりを目指す。					

西ノ平線歩道整備



空地碓線路肩整備



市木阿田和線側溝整備



阿田和(養真橋)耐震補強

